

高病原性鳥インフルエンザ 三重県(2例目)、奈良県で疑似患畜 確認

【全国20例目】

▼三重県度会(わたらい)郡 南伊勢町 採卵 約260,000羽▼2月26日、農場から家畜保健衛生所に通報(死亡羽数増加:前日の2倍以上確認)▼A型インフルエンザの簡易検査で陽性▼2月26日深夜、遺伝子検査の結果、H5亜型 陽性と判明し、死亡鶏の状況等も合わせて考慮し、疑似患畜と判定▼家きんの殺処分、焼埋却、移動制限区域の設定等、必要な防疫措置の的確な実施

【全国21例目】

▼奈良県五條(ごじょう)市 六倉(むつくら)町 採卵 約100,000羽▼2月28日、農場から家畜保健衛生所に通報(死亡羽数増加を確認)▼A型インフルエンザの簡易検査で陽性▼2月28日夜、遺伝子検査の結果、H5亜型 陽性と判明、死亡鶏の状況等も合わせて考慮し、疑似患畜と判定▼家きんの殺処分、焼埋却、移動制限区域の設定等、必要な防疫措置の的確な実施

高病原性鳥インフルエンザの侵入・拡散の防止のポイント

飼養衛生管理の遵守と異常発見時の早期通報の徹底

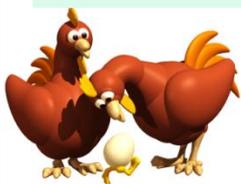
1 農場の衛生管理の徹底 (基本的な飼養衛生管理)

- ①防鳥ネット等、野生鳥獣の侵入防止対策の徹底
- ②農場内専用の衣服、履き物を設置し、出入り時は必要な消毒を実施
- ③鶏の飲用水は、消毒されたものを給与



2 早期通報の徹底

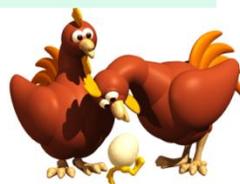
- ①鶏冠・肉垂等のチアノーゼ、沈うつ等本病が疑われる症状を確認した場合
- ②1鶏舎において、死亡羽数が直近3週間の平均死亡羽数と比べて2倍以上に増えた場合
- ③1鶏舎において5羽以上がまとまって死亡しているような場合
- ④その他にも、突然死、産卵率の低下、頸の捻転等神経症候等の異常が確認された場合

**連絡先**

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

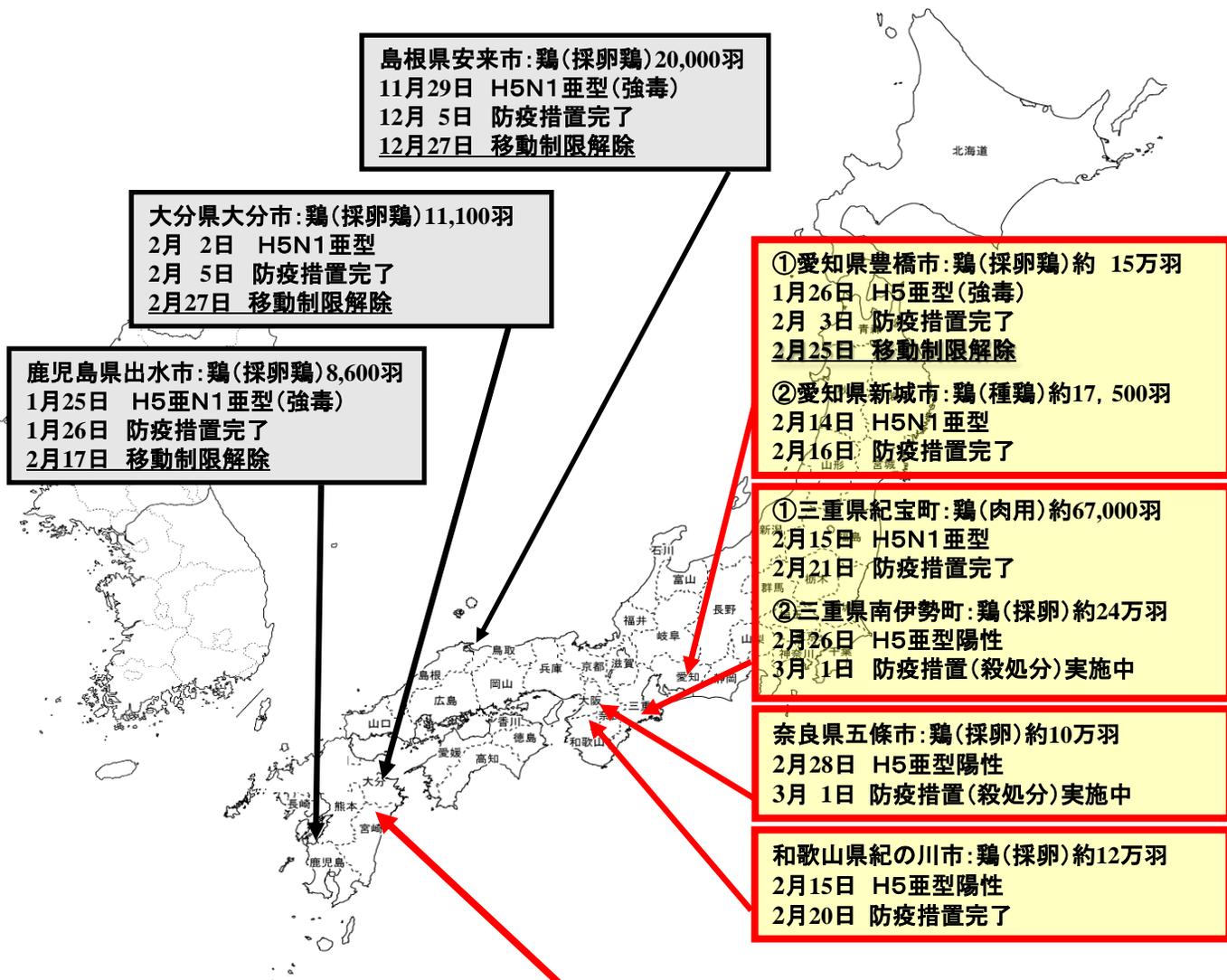
E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp



日本における高病原性鳥インフルエンザの発生状況

《H22年10月～:家きん飼養農家》

■ :家きん飼養農家



宮崎県

- ①宮崎市:鶏(種鶏) 10,240羽、1月22日、H5N1亜型(強毒) 1月24日防疫措置完了 2月15日移動制限解除
- ②新富町:鶏(採卵) 約66,000羽(団地全体41万羽)、1月23日、H5N1亜型(強毒) 2月24日 移動制限解除
- ③都農町:鶏(肉用) 10,400羽、1月27日、H5N1亜型(強毒) 2月20日移動制限解除
- ④川南町:鶏(肉用) 92,000羽、1月28日、H5N1亜型(強毒) 2月22日移動制限解除
- ⑤延岡市:鶏(肉用種鶏)6,600羽、1月28日、H5N1亜型(強毒) 2月21日移動制限解除
- ⑥高鍋町:鶏(肉用) 39,200羽、1月30日、H5N1亜型(強毒) 2月23日移動制限解除
- ⑦宮崎市:鶏(肉用) 190,000羽、2月1日、H5N1亜型(強毒) 2月26日移動制限解除
- ⑧高千穂町:鶏(肉用)59,000羽、2月5日、H5N1亜型(強毒) 2月28日移動制限解除
- ⑨都農町:鶏(肉用)約88,000羽、2月5日、H5N1亜型(強毒) 3月1日移動制限解除
- ⑩門川町:鶏(肉用)約30,000羽、2月6日、H5N1亜型(強毒) 3月1日移動制限解除
- ⑪宮崎市:鶏(肉用)約33,000羽、2月7日、H5N1亜型(強毒) 2月8日 防疫措置完了
- ⑫延岡市:鶏(肉用)約20,000羽、2月16日、H5N1亜型(強毒) 2月17日 防疫措置完了